

佐世保市の佐世保南高（藤原善行校長、816人）は17日、米カリフォルニア州のビスタ・マリエタ高と姉妹校提携を結んだ。佐世保南高で開かれた調印式には、マリエタ高からの留学生やダレン・ダニエル校長ら計8人が出席。式後、日本の生徒と日本文化を理解する授業に臨み、交流を深めた。

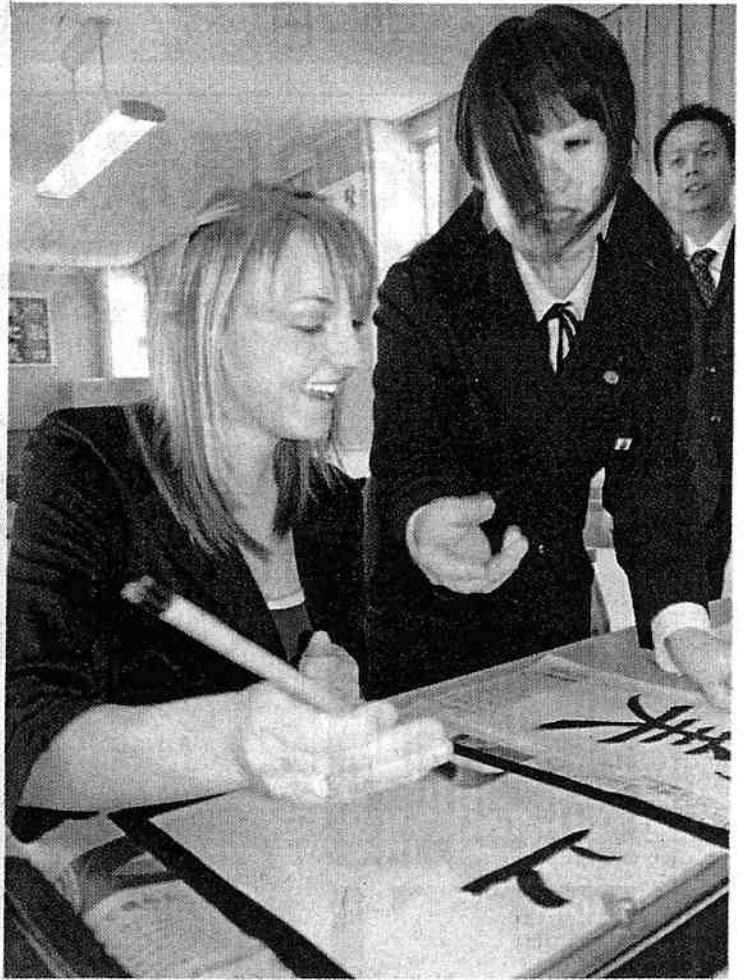
佐世保南高

米の高校と 姉妹校提携

両校は2005年から生徒の短期交換留学を続けており、さらに交流を深めようと提携を結ぶことにした。式では、藤原校長が「これまで交流してきた時間は貴重。これを節目に、さらに交流を続けたい」とあいさつ。ダニエル校長は「友好関係がずっと続いていくことを望む」と述べた。

この後、マリエタ高の生徒らは書道の授業に参加。講師に筆の使い方を教わった後、「美」や「春」などの漢字に挑戦した。最初は筆圧の調整に苦労している様子だったが、授業が終わるころには堂々とした書を披露。1年のケンドール・アンダーソンさんは「難しかったけど、きれいに書けたと思う」と喜んでた。

短期留学は19日まで。25日から約2週間、佐世保南高の生徒約40人がマリエタ高を訪問する。



書道に挑戦する
留学生（左）